



## ご利用の手引き



株式会社アイ・ティー・エー

# 目次

## はじめに

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 1 . インストールが終わったら   | 1 |
| 2 . インストールされたプログラム | 2 |

## モニタリングのしくみ

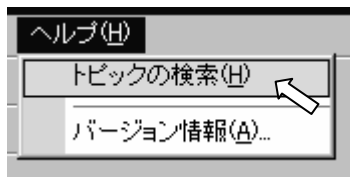
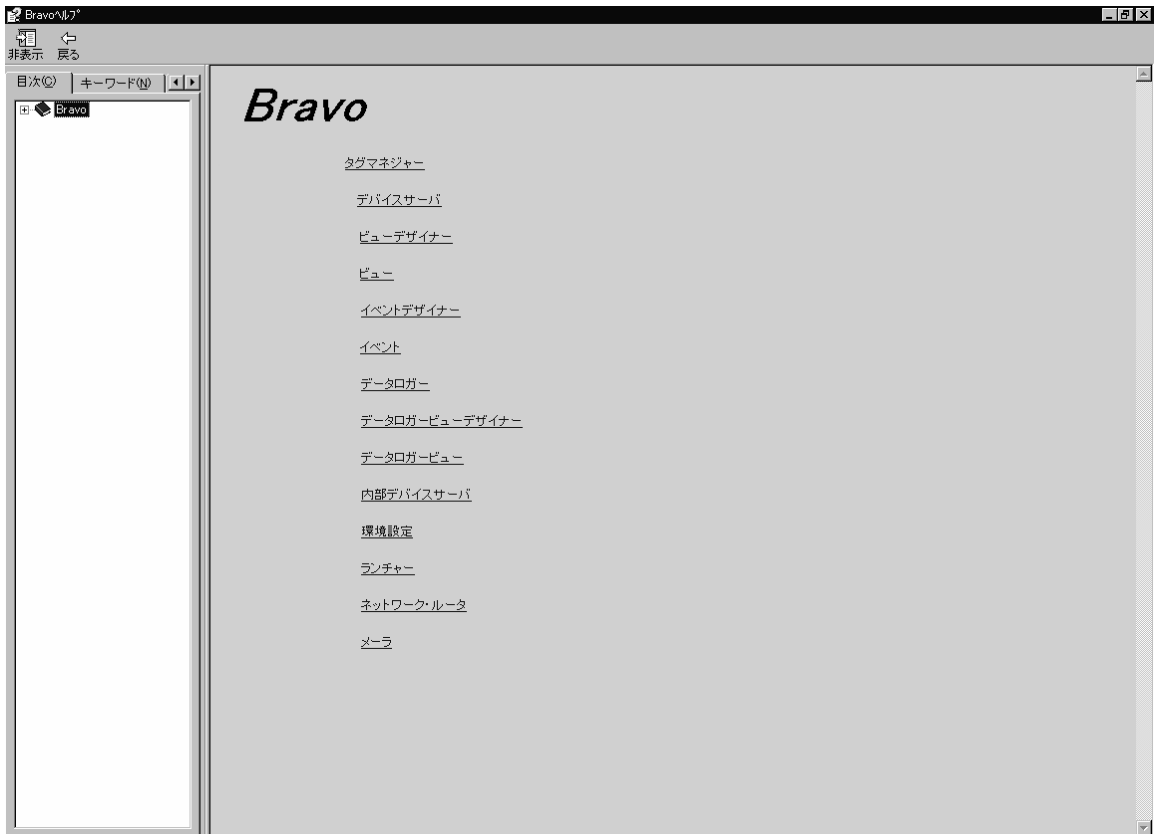
- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 1 . ブラボ-のシステム構成       | 5 |
| 2 . モニタリングを行うまでの作業の流れ | 6 |

# はじめに

本書は、ブラボーを使用するためのガイドブックです。  
ブラボーについての簡単な説明を書いています。

## 1. インストールが終わったら

インストールが終了すると自動的にヘルプファイルが開きます。  
ここからブラボーの各プログラムの操作方法が参照できます。



ブラボーの各プログラム実行中に、メニューバーのヘルプからトピックの検索をクリックしたときも、このヘルプファイルの該当するプログラムのページが開かれます。

## 2. インストールされたプログラム

ヘルプファイルを閉じると、Bravo という名前のフォルダがデスクトップに作成されています。このなかにブラボ-の各プログラムへのショートカットが作成されています。スタートメニューの中のプログラムグループにも Bravo というプログラムフォルダが作成されているので、その中から各プログラムを起動することができます。



### ・ヘルプ

ヘルプファイルを開きます。



### ・環境設定

ブラボ-では、作画データや設定データなど動作に必要なファイルはひとつのフォルダにまとめて保存されます。このフォルダをホームディレクトリと呼び、インストール時にデスクトップの Bravo に設定されます。

このプログラムでホームディレクトリの新規作成、既存フォルダへの変更を行うことができます。

また、ランチャー（モニタ実行マネージャ-）で使用する実行パックの作成や、デバイスサーバ（PLCなどと通信を行うプログラム）が使用するポート（UDP）の変更も行うことができます。



### ・ビュー・デザイナー

モニタ実行時に使用するフロー画面や設定画面、操作画面などの表示画面を作成します。



### ・イベント・デザイナー

モニタ実行時に使用するイベント（警報、通報など）や、画面（警報の履歴表示など）を作成します。



### ・データロガービューデザイナー

モニタ実行時に表示するグラフ画面（トレンド画面など）を作成します。



### ・タグマネージャ

ブラボーではシーケンサ（PLC）のデバイスをユニークな方法で指定します。感覚的に判りにくいので、このプログラムでそのデバイスに判り易い別の名前（タグ名）をつけておけば、デザイン時にそのタグ名でデバイスを指定することができます。



### ・デバイスサーバ

モニタ実行時、実際にシーケンサ（PLC）と通信を行います。シーケンサ（PLC）デバイスの状態はこのプログラムを経由して読み書きします。



### ・内部デバイスサーバ

ブラボーが予め持っている内部デバイス（シーケンサに依存しないデバイス）は、このプログラムが値を管理します。モニタ実行時、内部デバイスの状態はこのプログラムを経由して読み書きします。



### ・データロガー

グラフ画面（トレンド画面）で使用するデータや収集保存するデータの収集方法を設定したり、モニタ実行時、デバイスサーバ経由でデータ収集を行います。



### ・ビュー

ビュー・デザイナーで作成した画面のモニタ（表示）を実行するプログラムです。



### ・イベント

イベントビュー・デザイナーで作成した画面のモニタ（表示）を実行するプログラムです。



### ・データロガービュー

データロギングビュー・デザイナーで作成した画面のモニタ（表示）を実行するプログラムです。



### ・ネットワーク・ルータ

デバイスサーバが、インターネット（WAN）経由で他のパソコンで動作しているブラボーに接続されているシーケンサ（PLC）デバイスと通信を行う時に使用します。



メール

#### ・メール

デバイスの ON/OFF 時や指定時刻にメッセージやデバイスの状態をメール送信するための設定を行ったり、実行するプログラムです。メール対応の携帯電話にも送信可能で、端末側からデバイス状態の問い合わせや変更も可能です。この機能を使うには、メールが送受信できる状態でなければいけません。



ランチャー

#### ・ランチャー

ブラボーは、機能ごとにひとつのプログラムとなっているため、モニタ実行時には複数のプログラムを起動する必要があります。このプログラムを使うことにより、必要な複数のプログラムを一括して管理・起動することができます。



## 2. モニタリングを行うまでの作業の流れ

ブラボーでは、図形を描いてそれに対して、ランプであるとかスイッチであるとかの表示属性の設定を行うので、画面を仕上げた後表示属性を設定していき、その結果必要となったデバイスについてタグマネージャでの設定やサーバ設定を後で行うことができます。

また、先に必要なデバイスを決めておいて、サーバ設定やタグマネージャでの設定が終了してから画面を作ることもできます。

このように、自由度が高いので特に順番に決まりはないのですが、グラフ画面だけは必要となる設定ファイルの関係で順番が決まっています。一般的な手法に当てはめた場合の作成手順は以下のとおりです。

